

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【R8年度 学校評価計画書】

堺市立浅香山小学校
校長 山本 賢也

中学校区におけるめざす子ども像
肯定的に自己を見つめ、ちがいを認め、将来の夢と希望にむかって主体的に行動できる子

R8年度 学校教育目標 「多様な子どもたちがつながり学び合う学校」 ～児童一人ひとりの個性が輝く場を教職員全員でデザインする～	めざす子どもの姿 ○学びを楽しむ子ども ～知～ ○つながりを楽しむ子ども ～徳～ ○心身共に健やかに、学校生活を楽しむ子ども ～体～
--	--

「確かな学び」の現状 全国学力・学習状況調査の結果では、国語・算数ともに正答率が大阪府及び全国平均を10ポイント以上下回っていた。「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたか」「各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていたか」の質問項目では、全国と同等で大阪府平均を上回っていたことから、児童が主体的に取り組む授業改善が進んではいたが、定着に課題があることが伺われる。また、国語・算数・理科の教科について「好き」「得意」と思う児童の割合が大阪府及び全国平均を10ポイント以上下回っていた。さらなるICT活用等、授業改善に継続して努めながら、学びにおける児童の「楽しい」「わかる」を増やしていきたい。	「豊かな心・健やかな体」の現状 昨年度の学校評価アンケートでは、学校が楽しいことや自尊感情に係る項目において、約8割を維持している。しかし、全国学力・学習状況調査の結果では大阪府・全国を大幅に下回っており、高学年に上がるにつれ、低下傾向にあることが伺われる。「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思うか」「友達関係に満足しているか」も下回っていることから、多様性の尊重のもと、「自分」を大切にす指導を継続し、あらゆる機会を通じて、つながることの楽しさを経験させたい。昨年度の新体力テストの結果において、2年～4年では堺市平均を上回る種目が男女ともに多く見られる。また、学校評価アンケートの「体を動かすのは好きですか?」では、R6→R7において、80%→86%と改善している。各種委員会活動等、高学年児童主体の取り組みで、さらなる改善に努めていきたい。
---	---

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組、★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～12月)	達成状況(年度末)	
								自己評価	学校関係者評価
確かな学び	基礎学力向上・授業規律	・習得した知識を活用し、自ら課題を解決しようとする児童の育成。それを支える資質・能力の向上。具体的には国語・算数を中心とした、読み・書き・計算などの知識・技能(基礎学力)の習熟と定着。 ・家庭学習習慣の定着及び学級の学びを支える学習規律の徹底。	① 主に国語科・算数科の『知識・技能』領域の数値の向上 ・学校の活動(授業改善・朝学等の取り組み) ・家庭学習の充実・促進 ・学力テスト等の活用	・全国学テの国・算の正答率が全国平均かそれ以上 ・浅小アンケート「朝の学習や読書をがんばっていますか?」85%以上 ・浅小アンケート「家で勉強や宿題をしていますか」95%以上 ・IRT「先生はテストでまちがえたところや理解していないところについて、わかるまで教えてくれますか」85%以上	学校評価アンケート(児童、保護者) 全国学力・学習状況調査等	年度末			
			② 学習環境の改善 ・UD(板書・ノート、掲示物など) ・ICT機器の活用(ノイズの少ない学習) ・個別最適な授業プラン	・浅小アンケート「学習がわかりますか?」95%以上 ・浅小アンケート「先生がタブレットをつかうと分かりやすいですか?」95%以上 ・全国学テ29～30の項目(児童のICT機器の活用度合い)がすべて80%以上	学校評価アンケート(児童、保護者) 全国学力・学習状況調査等	年度末			
			③ 学習規律の徹底 ・話す、聞く、書く、読む ・浅小スタンダード、堺スタンダード	・浅小アンケート「自分の考えを発表しようとしている」75%以上 ・「考えをノートに書いている」「集中して静かに聞いている」95%以上	学校評価アンケート(児童、保護者)	年度末			
	『対話的で深い学び』の実現	・変化の激しい社会を、たくましく生き抜く児童の育成。既習事項や生活経験と結びつけ、未知の事象に目的意識をもって取り組む学習集団の育成。 1. 児童の問題意識から始まる授業づくり 2. 本質的な(オーセンティックな)学習体験 3. 学習方法の選択・提案・ふりかえり	④ 課題(問い)をつかむ。学びを進める。 ⑤ 学びをふりかえり、次の課題に迫る(PDCAサイクル)	・全国学テ「5年生までの授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、取り組んでいましたか?」70%以上 ・全国学テ「学習した内容について分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか?」70%以上 ・IRT「あなたは学んだ内容についてふりかえり『何ができるようになったか(自分の成長)』を実感していますか?」70%以上	全国学力・学習状況調査等	年度末			
			⑥ 学びを生活と結びつけて考える。実践する。 ・特に総合、特活に意図的に取り組む。	IRT「ふだんから『なぜだろう』『調べてみたいよ』と思うことがありますか?」80%以上 IRT「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの活動に取り組んでいますか?」70%以上 全国学テ「あなたの学級では学級活動をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか?」80%以上	全国学力・学習状況調査等	年度末			
			⑦ 学習方法の提案・選択、メタ的な理解 ・課題解決に適切な方法を選ぶ ・個人・集団の対話の中で学びを深める	全国学テ「分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができていますか?」70%以上 浅小アンケート「授業では話し合い活動を通じて、自分の考えを深めていますか?」95%以上	学校評価アンケート(児童、保護者) 全国学力・学習状況調査等	年度末			
	研修の充実	一人ひとりの教職員が常に問題意識を持ち、その改善にあたる。組織のシステムを作る。	⑧ 研究授業・評議会の改善	アンケート「評議会の満足度」☆4.5以上	教職員アンケート	年度末			
			⑨ 公開授業、メンター制度、ICT研修、個別最適についての研修	全教職員が年に1回公開授業を行う。 アンケート「メンター制度の満足度」☆4.5以上 『個別最適』の実践報告の記入	教職員アンケート 実施状況の報告	年度末			

豊かな心・健やかな体	自尊感情・自己指導力・多様性の受容	子ども一人ひとりが安心してつながる居場所と、主体的に役割を担う自己決定の機会を充実させ、自尊感情を高めるとともに、規範意識・自己指導力を育成する。	⑩授業をはじめ異学年交流・学校行事で多様性を認め合う学びと関係づくりをし、いじめや不登校・問題行動の未然防止の取り組みを強化する。	・「学校は楽しい」で肯定評価85%以上 ・「学校で、ほかの子からいやなことを言われたり、されたりせず安心してすごすことができるか」で肯定評価が85%以上 ・「友達関係に満足しているか」で肯定評価が90%以上	学校評価アンケート(児童) 全国学力状況調査(児童)	年度末				
			⑪毎月の生活目標を通して、浅小「3つの大切」(自分・人・物)の徹底を図り、規範意識を持たせる。	浅小「3つの大切」の徹底で肯定評価が90%以上 学校のきまりやルールを守っている。で肯定的評価が85%以上	学校評価アンケート(児童)	年度末				
			⑫自己決定を基盤とした役割意識の創出と相互承認による安心できる学級運営を心掛けることで、個々の居場所をつくり自己肯定感・自己有用感を高める。	・「自分は誰かの役に立っていると思う」で肯定評価が70%以上 ・「自分にはよいところがある」で肯定評価が85%以上 ・「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」で肯定評価が75%以上	学校評価アンケート(児童) 全国学力状況調査(児童)	年度末				
	体力向上	運動に親しむ機会や環境を整え、体力の向上を図る。	⑬新体力テストの結果をもとにして、楽しく活動できる体育授業の工夫や授業改善により、体力を向上させる。	「体を動かすことが好きだ」で肯定評価が85%以上	学校評価アンケート(児童)	年度末				
地域とともにある学校づくり	保護者や地域に教育活動を積極的に発信し、社会に開かれた教育課程を推進する。	⑭校報、HP、テトル等を通して、教育方針や教育活動等の学校の情報をより効果的かつ適時に発信し、理解を得る。	保護者や地域のニーズを踏まえつつ、教育活動の様子をHPに適時に掲載する	学校評価アンケート(保護者) 実施報告	毎月					
		⑮連合自治会主催のまつりや防災訓練など、地域の活動に積極的に参画する。	地域主催の行事に積極的に参加しようと努めている	参加状況	年度末					

校長より (年度末)

学校関係者評価者から (年度末)